

昭和59年度 新潟県青年農業者海外研修団員・大岩稔さん(原・29歳) ヨーロッパ農業体験記

昭和五十九年度新潟県青年農業者海外研修団(団長・佐藤定義さん(朝日村)一行十七人)の団員に本村の大岩稔さん(原・二十九歳)が選ばれ訪欧しました。

これは、本県近代農業の担い手となる青年農業者を海外に派遣し、国際的

十月二十九日午後七時、待望のラリ(西ドイツ)に到着。私を迎えに来てくれたのは、ちよっと太めだけれど、笑顔の素敵なお母さん。



▲大岩さんの29歳の誕生日には手作りケーキを作って祝ってくれた。(オズワルド家=西ドイツ)

に視野を広げ、体験を豊かにするほか、地域農業の発展を図るため五十二年度から実施されています。大岩さんらは十月二十四日から西ドイツの家庭滞在のほかに、イギリス、オランダ、フランス、イタリアの農業視察をして、十一月十日に帰国しました。

「グルース、ゴット」と、精一杯大きな声であいさつを交わし、西ドイツの一週間の家庭滞在が始まった。言葉の「壁」がない、と言えはうそになりませんが、私が考えていたほどではなく同じ人間同士のふれあいには、境界がないことをはじめに記しておきます。

家庭生活でまず気づいたことは、生活全体が「自給自足」で成り立っていることでした。すべて「自然」というものを頭に置いてそのサイクルに、うまく自分たちの生活を当てはめています。その中でも食事——日本では本来、冬には手に入らない野菜でも食べたいと思えば買ってでも食べる、それが普通ですがオズワルド家では少し違っていました。

野菜が少なければ他の物、例えば果物(自家で取れたもの)で代用し、無駄な出費は避け、見た目の派手さはなくても、食べておいしい物を食べられる

る量だけ食卓に出します。

家の暖房・料理の燃料はすべて「まき」を使っています。これは耕地三千鈴のうち、二千鈴が山林ということからもうなずかれます。電気節約も徹底していました。

物質の豊かさにあぐらをかく私たち日本人に対する警告のように受けとれ、我が家は特に無駄が多いな、と感じないではいられません。

少しでもそうした無駄をなく努力をして、生活にゆとりとした大きな自然の波を作りたいと思います。物質の豊かさだけが幸せのパロメーターではなく、物を大切にすること、心が幸せな家庭を作る、ということを含めながら身をもって体験することができました。

また農業面は、二十五頭の牛には毎日四〜五回牧草を腹一杯食べさせます。濃厚飼料はほんのひとつまみしか与えません。一鈴を二頭の牛に食べさせる牧草を作る、という考えから、頭数も自然と制限します。決して無理はしないということです。

また家にある二台のトラクターは、両方共アワメーターは七千時間。お父さんの買物で二十年も使っていることでした。外の作業機も含め、かなり古い物が多かったのですが、そうした古い機械ほど自慢の種でより大切に扱っていました。メーカーも長持ちする機械を作れる技術を誇りにしているそうです。

日本のメーカーはどうでしょう。全く逆の姿勢を感じてしまいます。使う立場の私も、反省しなければなりません。家庭生活も農業も無駄をなく努力を徹底しており、その考えがオズワルド家の中に、しっかりと根付いているように感じました。

家族構成は、アリア(母)五十三歳とジョセフ(長男)二十二歳の二人暮らしで、四人いる姉さんたちは、みんな嫁いでいますが、毎日のようにジョセフのおじさんが来てくれて、楽しく滞在できました。

また十一月一日の墓参りの日には、お姉さん夫婦や、子どもたち全員が顔をそろえ、大変にぎやかにパーティが開かれ、特に思い出深い日になりました。

父親を二十年前に亡くし、今では家の仕事を一手に担っている、本当に働き者のジョセフ。優しく見守っているお母さん。

このオズワルド家で得た教訓を心の糧として、これからの人生をたく、長く、生きぬきたいと思えます。

まだまだ、あげたらきりがなく、ラリ(西ドイツ)の日々は、私の一生の宝物になりました。この地で迎えることのできた二十九回目の誕生日——あの手作りケーキの味は一生忘れません。

最後にこの研修に際し、ご尽力いただいた関係機関のみなさんにお礼を申し上げるとともに、今後も引き続き研修が行われることを期待しています。

お早めにご……

確定申告

59年分の所得税の確定申告は、2月16日から受付が始まり申告期限は3月15日まで。期限近くになりますと税務署は大変混雑し、落ちついて相談できなかつたり、長時間待たされたりすることになります。ねまさんのように早めに申告を……また税金の還付を受けるため申告は16日以前でも出来たので早めにご……

所得税の医療費控除は領収書で

あなたやあなたの家族が病気をしたりけがをしたりして医療費を支払ったときは、一定の計算により医療費控除として、所得から差し引かれます。この控除を受けるためには、必ず医療機関の発行する領収書を確定申告書に添付する。同申告書提出の際、担当者に提示してください。該当すると思われる人は、早めに領収書を整理しておいてください。詳しくは巻末務務署・電話二三三五八。

国民年金

六十歳からでは損か得か 繰上げ請求はよく考えて

国民年金の老齢年金・通算老齢年金は、六十五歳から支給することをたてまえていますが、希望によっては六十歳から六十四歳までの間に請求して、早く年金を受け始めることもできます。

このように、六十五歳前に年金を受けたいことを繰上げ請求といえます。

繰上げ請求は受給を希望した

年齢に応じて、表のように本来の受給年齢(六十五歳)から受ける年金額から一定の割合で減額されることとなります。

減額は生涯続きます

繰上げて請求した人が受ける年金は、六十五歳になっても満額にはなりませんし、生涯同じ割合で減額された年金が支払われることとなります。

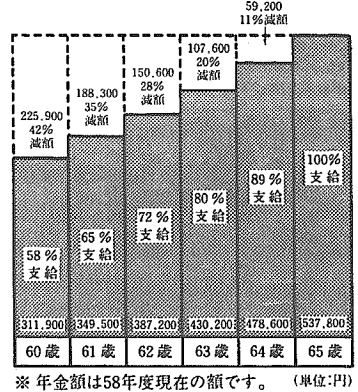
また、いったん繰上げ支給を受けた場合、後になって年金額

が少ないなどの理由で、請求を取り消したり、繰上げを希望した年齢の変更などはできません。

よく考えて慎重に

長い間保険料を納め続け、六十歳になられた人にとって、年金は待ち遠しいものであり早く受けたい気持ちですが、みなさんが受けているか「ら」とか「先のことはわからない」など、安易な気持ちで請求しますと、本

(例) 大正13年4月2日生れの人23年間納付した場合



西蒲原郡南部消防本部岩室分署 火災発生・救急出動状況

昭和59年、村内で起きた火災件数は7件——3~4年前と比較すると年々減少しています。損焼面積、損害額は計上するまでには至りませんでした。これは、みなさんの防火に対する意識が高い表れだと思います。今後も一層防火に努めてください。

一方、救急出動件数は195件と増加の傾向にあります。健康に十分注意して明るい毎を送りたいものです。——55年からの火災発生件数および救急出動件数は次のとおりです。

■救急出動状況 (59年12月31日現在)

年次	種別	計	事故種別									
			水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
昭和55年	出動件数	170	1	53	7	5	31	0	0	63	10	
	搬送人員	166	3	58	7	4	30	0	0	54	10	
56年	出動件数	162	2	45	4	3	33	0	1	67	7	
	搬送人員	160	1	54	4	3	29	0	0	62	7	
57年	出動件数	174	2	46	10	4	36	4	1	54	17	
	搬送人員	190	2	70	10	4	34	4	1	49	16	
58年	出動件数	188	0	75	8	2	34	2	3	58	6	
	搬送人員	188	0	83	8	2	33	0	3	53	6	
59年	出動件数	195	1	69	5	0	44	1	0	65	10	
	搬送人員	215	1	88	5	0	45	1	0	65	10	

■火災発生状況 (59年12月31日現在)

年次	種別	村内の火災発生件数			他市町村応援出動							計
		建物	車両	その他	小計	燕市	巻町	吉田町	弥生村	寺泊町	小計	
昭和55年		0	1	5	6	0	4	3	4	0	11	17
56年		4	1	5	10	0	3	3	1	1	8	18
57年		2	0	9	11	0	5	10	5	0	20	31
58年		5	0	4	9	1	8	3	3	0	15	24
59年		2	1	4	7	1	4	12	5	0	22	29

※ストーブなどの暖房器具のまわりには、燃えやすいものなど置かないよう、ご注意ください。